

金曜コラム -**傍若無人パワハラ選挙遊説でスポーツを侮辱した自由韓国党は謝罪せよ
-2019 年 4 月 1 日付スポーツ市民連帯論評**

2018 年、3 年ぶりに K リーグ 1 に昇格した市民球団慶南 FC はリーグ 2 位、MVP 選手排出などの優れた成果でシーズンを終えた。また、2018 年のホーム平均有料観客が 3,169 人で、2017 年比で 231%増加するほど市民に大きな愛を受ける球団に位置づけられた。追い風を受けた慶南 FC は 2019 年 K リーグ 1 が開幕から一ヶ月で、政治家の選挙遊説によって絶体絶命の危機に直面することになった。

慶南 FC ホーム球場である昌原サッカーセンターで開かれた慶南と大邱 FC の K リーグ 1 試合で「4・3 昌原城山補欠選挙」運動支援のために訪問した自由韓国党黄教安代表と姜ギユン候補側が競技場内で禁止されている選挙遊説を行なったものである。これにより、慶南 FC は 10 点以上の勝ち点減点などの懲戒を受ける危機に瀕している。プロサッカー連盟定款第 5 条（政治的中立性と差別禁止）によると、競技場内の選挙運動のガイドラインには、「スタジアム内で政党名、シンボル、番号などが露出された衣装を身に着ることができない」と明示されている。これに違反した時に、その球団は 10 点以上の勝ち点減点、無関係のホームゲーム、2,000 万ウォン以上の制裁金などを受けることになる。

2019 年 4 月 1 日に発表した慶南 FC の公式説明文によると、慶南 FC 社員は試合時間 30 分前に、黄代表と姜候補側が入場券を検札する瞬間を捉えた。FC 慶南従業員は、遊説員に向かって政党名、シンボル名、候補者名表記上のは入場不可と知らせて遊説員の入場を阻止した。しかし、選挙遊説員は検票員の制裁にもかかわらず、政党と候補者の名前が付いたユニフォームを着たまま頑としてスタジアムの中に入ってしまった。これに慶南 FC 従業員は重ねて選挙遊説を引き止めたが、彼らはものともせず「そのような規定がどこにあるのか」、「とんでもない事を言ってる」と FC 従業員を嘲笑しながらパワハラ選挙遊説を止めなかった。結局、FC 慶南ファンから激しい非難とマスコミの報道で論議が浮上すると、自由韓国党はサッカー連盟に選挙遊説禁止規定があることを知らなかったという謝罪とともに、選管委から有権解釈を受けて選挙遊説をした、と言って問題がないとの解釈で過ちを合理化する小細工を働かせている。

これに文化連帯と体育市民連帯（以下、体育市民社会団体）は、4 月 1 日午前、中央選挙管理委員会と慶尚南道選挙管理委員会に電話をかけて自由韓国党側が競技場の選挙遊説活動について有権解釈を受けたのは事実かどうかを確認した。電話を受けた担当者は、自由韓国党の依頼した有権解釈は口頭で受けたもので、まだ正確な事実確認がされていないと回答した。それとともに入場料や金額を支払わなければならない空間での選挙運動は公職選挙法 106 条に抵触する余地が高いとの解釈を下した。続いて 4 月 1 日 17 時、慶尚南道選挙管理委員会は慶南 FC スタジアム内の遊説について選挙法違反の疑いがあると判断し、行政措置である「公明選挙協力要請」をした。結局、黄教安代表と姜ギユン候補そして自由韓国党は、スポーツ規定を見下して、選挙法も取るに足りないように見たのも同然だ。選挙遊説がそのどんな価値と規定よりも重要であると勘違いする、時代遅れの認識を露骨に表わした取扱いだ。彼らはスポーツを選挙のための手頃な道具として片付けてしまった。これはスポーツの場でどのような政治的表現も許されていないという常識への挑戦と無理解に始まる。

慶南 FC は今日の午前、公式の立場表明文で自由韓国党と姜ギユン候補側に正式謝罪を要求したが、今回の事態に球団が懲戒を受けることになれば、懲戒の程度に応じて「慶南 FC ファンの道義的な責任はもちろん、規律の程度に応じて法的責任」を負うと発表した。体育市民社会団体は、慶南 FC の取り組みに積極的な支持を送る。

これに私たちは自由韓国党、黄教安党代表、姜ギユン候補に告げる。一日も早く慶南 FC と慶南道民そしてスポーツ界に向かって心から謝罪と許しを求めることを促す。さらに選挙管理委員会は今後、政治家たちがスポーツの現場での選挙遊説を絶対にできない強力な制裁と関連法令を改正することを要請する。また、慶南 FC がサッカー連盟から懲戒を受けた場合、自由韓国党は即座に被害補償を実施することを約束すべきである。体育市民社会団体は、必要に応じて慶南 FC と連携して支援を行うものであり、今後もスポーツの政治道具化を防止するために努力をするものである。

01 ソウル新聞 2019. 4. 2

【慶南 FC 「制裁金は韓国党が出せ」 サッカー界の政治家パワハラ波紋拡散】

自由韓国党黄教安代表と 4・3 昌原城山国会議員補欠選挙に出馬した姜ギユン候補の競技場内選挙遊説を防げなかったプロサッカーチーム慶南 FC が制裁金 2000 万ウォンの懲戒を受けた。これに慶南 FC は韓国党に 2000 万ウォンを補填してくれと要求して「サッカー界の政治家パワハラ」波紋が広がっています。韓国プロサッカー連盟賞罰委員会は 2 日、サッカー会館で会議を開き、先月 30 日に昌原サッカーセンターで行われた黄代表と姜候補の競技場遊説と関連連盟定款第 5 条の「政治的中立」条項違反を理由に、慶南 FC に制裁金 2000 万ウォンの決定を下しました。すると慶南 FC は公式の立場表明文を通じて「2000 万ウォン制裁金賦課懲戒を受けたことに対して深い遺憾を表す」とし「慶南 FC は球団の名誉を失墜させた黄代表と姜候補に公式謝罪を要求するものであり、今回の懲戒による経済的損失にも責任ある措置をするよう求める。そうしなければ、あらゆる法的措置をとるもの」としました。

続いて「黄代表と姜候補および随員たちは、規定をよく知らなかったと言ったが、試合当日韓国党随員が警備員代表に競技場内選挙関連規定を事前に問い合わせしており、検札の過程でも検票員が政党とシンボルが書かれた服を着ては入場が不可能であることを告知したにもかかわらず随員が無断で入った」とし「競技場の内部でも、黄代表と随員は違反告知と上着脱衣を数回要求されてから服を脱いだので、規定違反事項を十分認識することができた」としました。スタジアム入場時に制止を受けなかったと前日に主張した黄代表は、この日は「今回の懲戒について残念と考えて、慶南道民とサッカーファンに恐れ入る」とし「今回の制裁措置の再考が行われたら良いし、このようなことが再発されないように最善を尽くしたい」と言いました。

他の党は、一斉に韓国党のパワハラ行動を批判しながら制裁金を韓国党が代わりに支払うべきだと主張しました。共に民主党イ・ジェジョン代弁人は、「競技場関係者にパワハラを繰り返した黄代表と姜ギユン候補が、慶南 FC が受けた制裁金の責任を負わなければならない」としました。正しい未来党の金イクファン副代弁人は「慶南 FC の制裁金を韓国党が代納するのは当然のことだ」としました。民主平和党ジョン・ヒョン代弁人も「もし黄代表が制裁金を出さないとすれば慶南 FC は求償権レベルで法的措置をしなければならない」と述べました。正義党チェ・ソク代弁人は「韓国党がパワハラ政治を続けるなら、国民からの政治的

求償権を請求受けることになるだろう」としました。

*出典 <https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20190403004001>

02 中央日報 2019. 4. 4

【文大統領「スポーツ界の暴力・性暴力の問題、国民に引き続き知らせなければ」】

ムン・ジェイン大統領は4日、最近問題となった体育界の暴力・性暴力の問題について「国民の関心が集中されただけに、動力が落ちないように国民に中間報告などの方法を通じて継続して知らせていかなければならない」と述べた。ムン大統領はこの日午後、大統領府で開かれた国家人権委員会特別報告で、スポーツ分野の暴力・性暴力の問題など、最近の人権問題に懸念を示して人権委の役割を強調した。

崔ヨンエ人権委員長は最近、韓国社会の深刻な人権懸案で労働市場の二極化をはじめとする社会の二極化、憎悪・差別の拡散、スポーツ分野の暴力・性暴力、パワハラ・職場いじめなどの企業の人権問題などを報告した。人権委によると、ムン大統領は人権委の懸念に積極的に共感して、人権委の役割の重要性を強調した。ムン大統領は、特にスポーツ界の暴力・性暴力に対応するために新設された人権委の「スポーツ人権特別調査団」について大きな期待をかけていて、十分な時間を持って解決することを期待した。

ムン大統領は「構造的な問題が根深いほど短期間で解消されることはないので、委員会が十分な時間を持って解決策を模索してくれることを期待する」とし「国民の関心が大きいだけに、動力が落ちないように、国民に中間報告をする方法などを通じて継続的に知らせていかなければならない」と述べた。

人権委はこの日、大統領報告で明らかにした人権問題の解決策として、住宅脆弱層の保護、高齢者の人権増進、憎悪・差別に関する汎政府政的な政策宣言、スポーツ人権実態調査、公共機関の人権経営制度化などを挙げた。主な課題としては、人権委の構成・組織・予算上の独立性の向上と人権研修院設置、非常任人権委員増員と軍の人権保護官の設置などを報告した。

人権委は「ムン大統領は人権委の独立性を確保するために特に努力して、少なくとも一定の範囲内での人事や組織運営の自律性は保証できる方案を模索してみようと提案した」と伝えた。

*出典 <https://news.joins.com/article/23432242>

03 KBS 2019. 4. 5

【北朝鮮体育相「東京オリンピック参加資格得よう集中」】

金イルグク北朝鮮体育相が「今年、東京オリンピック参加のための種目別の資格競技で、より多くの参加資格を得るための事業にすべての力を総集中しなければならない」と強調したと、在日本朝鮮人総連合会の機関紙朝鮮新報が今日（5日）報道しました。

朝鮮新報は先月28日、平壤の人民文化宮殿で開かれた朝鮮オリンピック委員会総会で金体育相が朝鮮オリンピック委員会の昨年の事業決算と今年の実業の方向性について報告をしたとして、このように明らかにしました。

金体育相はまた、「朝鮮オリンピック委員会では、サッカーと卓球、送球（ハンドボール）、重量挙げ、柔術（柔道）、ボクシング、レスリング、水泳、カヌー、マラソン、芸術体操、射撃、矢打ち（アーチェリ

一) などの種目に国家総合訓練を組織して選手、監督らが 2020 年の東京オリンピック競技大会の参加資格を獲得するための準備を加速している」と付け加えました。

しかし、この日の報道では東京オリンピックの南北共同入場と単一チームの構成は記載されていません。ただし、金体育相は報告で「第 23 回冬季オリンピック競技大会をはじめとする国際競技に北南単一チームで参加して北南関係の発展と平和繁栄のための全朝鮮人民の闘争を力強く鼓舞した」としながら南北単一チーム構成について肯定的に評価しました。

先に国際オリンピック委員会は、2020 年東京オリンピックの南北選手団の共同入場と女子バスケットボールなどの 4 種目の南北単一チームの構成を承認しました。

大韓体育会は先月、北朝鮮側に 4 つの種目単一チーム代表選抜基準を議論し、共同訓練計画を立てようと公式提案しましたが、これまで北側の返信はありません。

*出典

<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=4174112&ref=A>

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 1485-3 スンジョンビル 305 号

체육시민연대 서울시 서초구 서초동 1485-3 승정빌딩 305 호

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net

ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com